

荒尾市観光振興計画（第2期）策定ワークショップ（全2回）まとめ

第1回（11月16日）

①荒尾のイチオシ

- ・マジック釣り大会 ・荒尾駅（アクセス） ・万田坑 ・秋の鉄道敷跡
- ・熊本県の北 ・荒尾の四季 ・関島秀樹 ・小代（岱）焼 ・交通の便が良い
- ・グリーンランド（西日本、300万人）・グリーンランドの観覧車 ・刀（砂鉄）
- ・メディア直結力（若い人の力） ・住みやすさ（利便性） ・ジャンボ梨
- ・夕日（ロケーションが良い） ・干潟（干潟の夕日がきれい） ・砂干潟
- ・程ほどの都会感（古いものも残っている） ・適度に何でもある ・美味しい米
- ・食（メロンパン、マジック、おいしい店）

②日頃の活動でやってよかったことや気づき

- ・万田坑の土手の雑草 ・おしきだ味噌の体験 ・万田坑のトイレの紙
- ・金山スイカを見学 ・マジック料理 ・駅まわりの不便さ ・観光マップ
- ・活動を通じて漁業者や農家の人と知り合えた ・人を生かす活動
- ・グリーンランドは大牟田ではないかと間違えられる ・海タコ
- ・荒尾の名を有名に ・小岱（代）焼をイベントで ・荒尾梨は素晴らしい
- ・年齢を超えて個々の意見が言えるようになると荒尾は良くなると思う
- ・地元の人が良く知らず、よそから来た人の方が見る目がある ・季節ごとのイベント
- ・マジック釣りに人数が増えてきた。メディアの影響はすごい ・歩いていける干潟
- ・意外にみんな不満があるという印象。観光の視点でもったいない ・体験が必要
- ・知らなかったお客さんと出会ったり、橋の由来が分かったりしたとき

●感想（まとめ）

- ・荒尾って「〇〇の街」を目指したい
- ・荒尾といわれても場所が分からない人が多いので知ってもらいたい
- ・荒尾のことを自分自身が良く知らない。もっと勉強したい
- ・荒尾にはいいところもたくさんあるし、直したいところもある。もったいない。
- ・市民の人が自慢できる。市民が広報の役割を担うようにするとよい。
- ・宮崎兄弟など荒尾にすごい人がいる。もっと大切にしていきたい。
- ・ただ見るだけでなく、一緒に体感する。万田坑にも体験できるものがあつた方がよい。

第2回（11月27日）

賑わいのある荒尾にするために、してもらいたいこと・できたらいいなと思うこと

- ・人が集まる核になる施設。道の駅。サイクリングルート。
- ・売り込み。荒尾の商品などに「いいね」を市民でみんなですていこう。

- ・ イベントカレンダー。毎月何かのイベントを盛り込んだカレンダーを配布。
- ・ 広い場所を作って子どもたちが遊べる大きな遊具がある公園。荒尾の人も外からの人も大人も子どもも集まることができる。干潟が見えればなおよい。
- ・ 梨の収穫イベントをする。荒尾で梨が収穫できたよといったイベント。小代焼のイベント。
- ・ 夕日が見られる時間をホームページで案内。ライブカメラでもよい。
- ・ 発信力のアップ（SNSを活用）。荒尾を知ってもらいたい。
- ・ 観光案内所（道の駅）をつくる。
- ・ 荒尾を一言で言い表せるコンセプトを考える。
- ・ 交通アクセスの整備。荒尾の中がいきづらい。観光目的の周遊バス
- ・ 干潟ウォークは定期的開催する。歩いていけるのは目玉。カフェ、トイレも充実
- ・ 万田坑での体験（トロッコを押すなど）

番外編

- ・ 夜の万田坑、干潟の夕日など。夜を売り込む。（夜のスポット、写真で発信）
- ・ まち全体で花。広報あらおと一緒に種を配る。荒尾のまち中をひまわりでいっぱいにするなど。
- ・ 干潟で、昼寝。（ブルーシートで寝転ぶ）
- ・ 大鍋会（だご汁など）をやりたい

※メンバー所属：荒尾のまち案内人／万田坑市民ガイド／荒尾干潟ガイド／マジック釣りインストラクター／おもて梨直売会／海行原ふるさと愛好会／青年会議所／商工会議所青年部／荒尾市応援隊長／地域おこし協力隊／観光協会（順不同・総勢 22 名）



ワーキング
ショップの様子

上 2 枚
: 11/16
下 2 枚
: 11/27

